

会 議 結 果 報 告 書

令和3年6月1日

会議の名称	第30回志木市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
開催日時	令和3年6月1日（火）9時40分～10時20分
開催場所	庁議室
出席者	市長 香川 武文 副市長 櫻井 正彦 教育長 柚木 博 総合行政部長 尾崎 誠一 総務部長 川幡 浩之 市民生活部長 村山 修 福祉部長 村上 孝浩 子ども・健康部長 大熊 克之 都市整備部長 中森 福夫 市長公室長 松永 仁 上下水道部長 渋谷 聡 会計管理者 豊島 俊二 議会事務局長 大河内 充 教育政策部長 北村 竜一 防災危機管理課長 篠崎 勉 健康増進センター所長 大野 広幸 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援室長 杉田 明子 秘書政策課長 外立 健一 (計18人)
欠席者	(計0人)
説明員職氏名	秘書政策課長 外立 健一 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援室長 杉田 明子 健康増進センター所長 大野 広幸 (計3人)
議題	(1) 埼玉県におけるまん延防止等重点措置等の延長に伴う本市 の対応について (2) その他
結果	まん延防止等重点措置等に係る本市の対応については、これまでの 対応を6月20日まで継続して実施することとする。また、ワク チン接種については、国の動向やワクチンの接種体制等の状況を 踏まえながら、早期に希望者への接種ができるよう進める。
事務局職員	秘書政策課長 外立 健一 秘書政策課主査 本間 晴香

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

2 議事（志木市新型コロナウイルス感染症対策本部員は、本部員と表記する。）

（1）埼玉県におけるまん延防止等重点措置等の延長に伴う本市の対応について 外立秘書政策課長より説明後、意見交換を行った。

本市の陽性者数の発生状況について、直近3週間の動向を見ると若干の減少傾向が見られた。

令和3年5月28日に開催された埼玉県における新型コロナウイルス対策本部会議において、緊急事態宣言の発出を要請する段階ではないものの、引き続き、感染拡大防止対策の徹底が必要な状況であることから、埼玉県におけるまん延防止等重点措置を実施すべき期間を6月20日まで延長することとなった。併せて、6月1日以降の要請内容について、新たに県管理河川敷グラウンドなどにある駐車場の利用自粛の依頼が追加された一方、映画館での上映時間を「午後8時まで」から「午後9時まで」に緩和された。

なお、これらの要請内容について、本市に影響はないため、本市としては、これまでの対応を6月20日まで継続して実施することとする。

（本部員）

埼玉県からの要請で実施した飲食店の現地確認は引き続き実施するのか。

（説明員）

現在、埼玉県からの依頼はないが、何かあれば実施する可能性はある。

（2）その他

杉田新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援室長より、以下①～④について説明後、意見交換を行った。

①新型コロナウイルスワクチンの問合せと予約状況等について

5月24日からインターネットでのワクチン接種の予約が始まり、現在、75歳以上の方の予約を受付している。

5月31日14時時点の予約人数は7,970人となり、予約率は75%となっている。また、同日の18時半時点でのVRSにおける接種状況について、1回目接種者は2,066人、2回目接種者は74人となり、65歳以上高齢者の1回目接種率は11%となっている。

(本部員)

市ホームページで接種率の公表をしていただきたい。

(説明員)

VRSに基づく接種率を公表する。

②接種券の発送状況について

5月31日と本日の2日間で65歳以上の方全員へ接種券を発送した。

また、本日より、基礎疾患者に対する接種券の申請受付を開始し、6月21日より予約ができるよう接種券の発送準備を進めていく。市外者に対しても同様のスケジュールとなり、各クリニックにおいて、ID及びパスワードが記載された紙を配布している。

③直前キャンセルが出た場合の対応について

直前キャンセルが出た場合については、予約していなくても各医療機関の判断で、かかりつけ患者の中から早めにワクチンを接種することが望ましい方へ個別に連絡をとっていただき接種することで、キャンセルによる廃棄を防ぎたいと考えている。また、各医療機関に判断を委ねることにより、早めに接種した方が望ましい方への早期接種が可能となる。

本日から、ワクチン接種を実施する全ての医療機関で接種が始まったため、今後どの程度キャンセルが生じるかは不明であり、各医療機関との調整もまだ行っていないが、この対応にご了承いただけるならば、この後、早急に各医療機関と相談したいと考えている。

併せて、どうしても各医療機関で接種者を見つけられない場合には、市職員(学校や保育園等に勤務する市内在住者)に接種したいと考えている。

(本部員)

キャンセルが出た際の対応について、提案どおり各医療機関で行っていたか、早急にコンセンサスを取っていただきたい。

④ワクチン接種スケジュールについて

現在、65歳以上の方まで接種券を発送しており、ワクチンの要求についても第8クール(65歳以上の高齢者の分全て)まで終わっている。6月21日、6月28日の週に、市に7箱、TMG宗岡中央病院に6箱、浅野病院に1箱が到着予定で、これで要求分全てが納品されることになる。

また、65歳未満に対するスケジュールを新たに設け、高い年齢から段階的に区切って接種券を発送していく予定である。さらに、ワクチン接種ができない子どもへの感染予防策として、子どもに関わる職種（小中学校、保育園、幼稚園、学童保育等）の方への接種を8月頃から始めたいと考えている。併せて、受験生に対しても受験シーズン前（10月頃）に希望者へ接種できるよう準備を進めたい。

（本部員）

高齢者施設におけるワクチン接種について、実施医療機関及び各高齢者施設への説明など、準備ができているのか。

（説明員）

説明済みであり、準備が整った施設から接種を開始する。

（本部員）

8月に予定している子どもに係る人への接種について、学校や保育園等を管轄する組織毎に対象者の名簿作成や市外者も含めた接種券の収集をお願いした方が良いのではないかと。

（本部員）

20～30代の多くは、かかりつけの医療機関はないと思う。接種を進めるためにも、集団接種の実施について、再度検討していただきたい。

（本部員）

国の動向を注視しつつ、前倒しできるものは前倒しするなど臨機応変に対応しながら、遅れをとることなくワクチン接種を進めていただきたい。

（説明員）

国の動向や本市のワクチン接種体制等の状況を踏まえながら、早期に希望者への接種ができるよう進める。

大野健康増進センター所長より、⑤について説明した。

⑤ワクチン接種予約お助け隊の実施状況について

6月24日から31日までの8日間で1,918人が利用した。

最初の3日間は大勢の方に利用していただいたが、徐々に利用者が減り、30日は、3会場とも一桁台の利用であった。65歳から74歳までの方に接種券を発送したため、本日午後以降、利用者が再び増加すると見込んでいる。

